

令和7年度事業の進め方

全般方針

滝沢市及び地域の発展・環境変化に対応しつつ、住民主体による「幸福感を育む地域づくり」を目的とし、自治会活動を通じて親睦を図りながら、全住民が楽しく参加できるような自治会活動をめざし、安全で明るく住みよい地域づくりを促進する。

そのために元村中央自治会として、次の事項について検討を重ね取り組んで行くことといたします。

1. 自治会の組織再編（分割）の取り組みについて

自治会分割独立の取り組みについては、平成26年度の事業計画でマンモス化した自治会の分割について、具体的検討に着手するとして、これまで取り組んできました。この間、平成31年には南牧野林自治会が、そして令和2年には牧野林中央自治会が分離独立しました。

その後、小学校区単位を基本とした3分割を目途に取り組んで来ましたが、持続可能な自治会を目指す観点から再考する時期にあるものと判断します。

現時点では必ずしもそのような機に熟しておらず、今後、皆さまのご意見をいただきながら進めることが肝要と考えます。したがって、昨年、一昨年の全般方針では3分割が前提となっておりましたが、まずはこれを白紙に戻し、新たな視点で再考する必要があるとの結論に至りました。

2. 特別会計（分割準備金）について

自治会の組織再編（分割）が現時点では出来なくなったことにより、特別会計（分割準備金）については、一部を残して一般会計に繰り入れ繰入金として処理し、予算（案）では持続可能な自治会のための準備金として計上したいと考えます。

3. 自治会体制の見直し検討及び事業（行事等）の見直しについて

自治会の役員体制（専門部を含む）や各種行事等について、これまでの反省を踏まえ、役員会や必要に応じて、アンケートを取るなどして、検討を重ね、改革を図って行く事といたします。

（1）自治会の役員体制（専門部を含む）については、令和8年度が役員改選期となりますので、今総会が終了後、早めに役員選考委員会を立ち上げ、どのようにしたら若い方にも参加してもらえるか。また、役員の順番制なども含め検討致します。

(2) 事業(行事等)の見直しについては、行事ごとに子供会や地区生徒会役員を巻き込んだ実行委員会を立ち上げて検討し、これまでの慣例にとらわれず、子どもから高齢者まで参加できるような行事に出来るよう検討を重ねてまいります。

特に自治会の年間行事は、参加対象者や所要経費等も含めて総合的に検討し、見直しを図って行きます。

以上、自治会では今、多くの課題を抱えておりますので、改革に向けて会員の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。